

| | | | | | | | |
|-------------------|--|--------------|------|-----------|-------|------|-----|
| 学科名 | 生物環境化学科・電気通信工学科・建築・デザイン学科・情報学科・経営ビジネス学科 | | | | | | |
| 科目名 | キャリアデザイン Career Design | | | | | | |
| 科目区分 | 人間形成科目 | 単位数 | 2単位 | 開講時期 | 2年次前期 | | |
| 必修・選択の別 | 選択科目 | | | | | | |
| 担当者 | アウトソーシング(麻生キャリアサポート:大多 正人) | | | | | | |
| 授業の到達目標(シラバスから) | 1)自分を肯定する～「これでいいのだ」 2)自分らしさを知る～「私の強みは〇〇だ」 3)社会を知る～「仕事は、大人は、面白い」 4)社会で必要となる資質を磨く～「コミュニケーションってこういうことか」 5)卒業後のイメージを具体的に描く～「10年後はこうありたい」 6)そのために今から取り組むべきことを明確にする～「ここからはじめよう」 7)毎日を充実させるためのアクションを起こす～「やるなら、今」 | | | | | | |
| 日程と内容 | 4/7: オリエンテーション～講座の主旨と重要性、授業の進め方及び成績評価法 4/14: 社会を知る①社会が求める人材像～講座を通して目指すもの 4/28: コミュニケーションを学ぶ①リスニング 5/12: 職業適性を知る①適職診断NAAIPとは 5/19: 社会を知る②働くということ～後悔しない進路選択のために 5/21: 社会を知る③就職活動へのアプローチ～今から取り組むべきこと 5/26: 職業適性を知る②適職診断NAAIP解説 6/2: 自分らしさを知る①自己表現テストワーク 6/9: 社会に必要な基礎学力①SPI2ワーク 6/16: コミュニケーションを学ぶ②アサーション 6/23: コミュニケーションを学ぶ③ディスカッション 6/30: 自分らしさを知る②自己表現テスト解説 7/7: 社会に必要な基礎学力②SPI2ワーク解説 7/14: ロールモデルを探す①先輩に学ぶ 8/2: 総括～大学生活を10倍楽しむためのアクションプラン | | | | | | |
| 成績評価基準 | 定期試験 | | | 実技 | | | |
| | 臨時試験 | | | 部外評価 | | | |
| | 報告書・レポート | 100% | | プレゼンテーション | | | |
| | 課題 | | | 計 | | 100% | |
| | 演習 | | | | | | |
| 授業到達目標の達成度 | 講義内容の到達目標に対してもほぼ達成できたと確信する。今年は例年にも増して学生からの質問が多く、それらすべてに回答していくことで「痒いところに手が届く」授業になったのではないかと感じる。ただ、4)のコミュニケーションに関しては受講生の多さと教室環境からグループワークを円滑に進めるのに難渋したため、イメージ通りの学習効果があったとは言い難い。 | | | | | | |
| 反省点 | 質問対応など意識して改善に努めたものの、前年同様受講生が200名を越えたため、やはり一人ひとりの学生とのコミュニケーションが困難であった。また、授業のみならず事務的な対応に追われることも少なからずあった。 | | | | | | |
| 来年度の計画 | キャリアデザインを通して彼らのパラダイムを転換させ、「社会の一員となる」意識を高めることで学生生活の充実につなげる「活みなぎる」講座であり続けたい。引き続き「社会基準」を重視し、規律ある授業運営を心掛けた。来年度は受講者数に拘わらず学生への対応をより充実させるための構造的な見直しを図りたい。 | | | | | | |
| 授業評価アンケートに対するコメント | 多くの学生に気づきや発見があり、メッセージをしっかりと感じ取ってくれていることは素直に喜ぶ。ただ、毎年思うことだが、授業評価の高さがゴールではない。ここでの気づきを彼らがどうアクションにつなげるかである。日々の言動に責任と「社会基準」を持って、大学生活を充実させてくれることを祈念する。 | | | | | | |
| 履修登録者数 | 215名 | 定期試験 受験者数 | 215名 | 合格者数 | 205名 | 合格率 | 95% |